

## 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
<b>I. 理念・安心と安全に基づく運営</b>							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	『この場所(町)で穏やかに共に生き「私の人生よかった」の笑顔を尽くします』を理念にそれに即した認知症ケアの実践に努めている。職員は就業前に個々で唱和している			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍で、地域に向けた認知症予防啓発活動は行っていないが町内避難訓練に参加し、「車椅子の使い方・認知症の方や徘徊者との接し方・注意点等」について指導・講習を行った。又入居申し込みに来られたご家族の話をよく聞き相談支援に努めている。	今後も、わかたけ班として町内の避難訓練に参加し、地域関係者との顔の見える関係作りと協力体制強化を図る。地域に向けて、介護・認知症についての講習を行う等の認知症予防啓発活動を継続していく。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	令和3年度運営推進会議は5月・9月はコロナ感染状況を踏まえ書面開催。7月の会議では消防署や区長に参加戴き、洪水災害について災害時における適切な判断及び避難行動について、ハザードマップを見ながら、又地域の実情を踏まえた避難の在り方について話し合った。	会議では委員会からの報告とテーマを設定し話し合い意見を運営に反映。今年度より運営推進会議を活用した外部評価を取り入れ、自己評価で抽出された課題について地域関係者と解決に向け話し合い具体的な取り組みを見出す等、サービス質の確保・向上に努める。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	運営推進会議の中で、委員会においての検討内容や具体的な対策等、現場の実情を踏まえた課題に対する取り組みについて伝え話し合い指導戴いている。又防災、コロナ初期対応等についても同様に指導戴いた。日頃より介護保険上分からない事等相談している。	今後も、委員会を通じて、ケア現場の実情や課題、対応策等を伝え指導戴く、又防災やコロナ発生時対応についても同様に指導戴く等、日頃から相談・協力関係を築くよう取り組んでいく。会議の中での情報共有		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	虐待防止・身体拘束廃止委員会を毎月開催。日々のケアで身体拘束や虐待・不適切ケアはないか、又繋がりそうな事案について検討し、職員会議で周知。又運営推進会議にて報告。身体拘束についての外部研修(Web研修)参加や勉強会を通じ理解の強化を図っている。事例⇒委員会⇄職員会議←委員会⇄運営推進会議(連動)。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	委員会の実施内容と結果について、運営推進会議の中で報告されている。職員会議や勉強会にて適切な対応に努めようと取り組みがなされている。

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は、ケアの振り返りを行い不適切ケアの事案を委員会で検討。職員会議にて検討内容を周知。自己点検シート・気づきのアンケートを実施・集計し現状把握。虐待防止の為の改善計画作成、取り組み実施・評価行い運営推進会議で報告。高齢者虐待についての勉強会やWeb研修受講し理解強化を図った。		A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員同士が共通認識できており、自己チェックできる体制が取られている事に安心できる。職員の心身の管理をし、心にゆとりのある対応を引き続きお願いします。目に見えない虐待(無視など)発見の難しさある事も自覚し職員研修にて虐待防止に努めていただきたい。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	成年後見講座(受講済み)の資料・報告書を基に勉強会にて学ぶ機会とした。又成年後見制度利用にあたり情報提供として、本人情報シート(成年後見制度用)についても学んだ。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時、本人や家族に不安や疑問点を訪ねながら契約書や重要事項説明書を読み上げ説明し理解・納得図っている。解約時、契約に基ずくと共にその決定過程を明確にして本人や家族に分かり易く説明し理解・納得図っている。改定の際には、事前に電話や面会時に口頭で説明し、書面にて変更内容記載しご理解の上同意載している。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々のケアの中で、又面会時や運営推進会議にて本人や家族の意見等を聞き運営に反映する。年1回家族向け満足度アンケート実施・集計し運営推進会議で報告。又ラポール委員会での利用者の意見も反映している。		A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議の資料や毎月の家族への通知、年1回のアンケート等、定期的な意見集約ができている。利用者の意見が聞けたのは良かった。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃の活動を通じて職員の運営に関する意見等を聞き、月1回施設長・管理者会議において課題となる現場の声や意見を伝え話し合い、運営に反映できるよう努めている。実際コロナ禍における面会や感染対策状況、職員の行動指針等について話し合っている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	働きやすい職場環境になるよう、職員の勤務状況を把握し、改善可能な部分を日々検討している。柔軟な労働時間や処遇改善を図り、又個々の職員が持つ力をケアに活かせるようなやりがいのある職場を目指し努めている。処遇改善計画・報告内容を全職員に周知。個人面談実施。		A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	努力されている姿が伺える。管理者のみに負担がかからないようにして下さい。ストレスケアは、十分にしてもらいたいと思います。

12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外部研修(Web研修)、勉強会等に受講参加し、自己理解度評価を行っている。前年度同様独自のキャリアパスに関して職員への周知が進まず、又雇用形態によって構築が難しい面があり、キャリアパスを利用した研修計画になっていない。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	雇用形態が違う事で周知が困難な点は理解できる。仕事を通じて伝達していく方法で周知してみても、自分自身を知る事(自分の傾向、自分はどうか等)から始めてみるのも良い。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	福井県認知症高齢者グループホーム連絡協議会丹南地区部会はコロナ禍にて活動できていないがオンライン研修に参加。コロナ禍での課題(面会、地域交流、発生時対応等)や介護保険改定後の進捗状況等の情報共有し共にサービスの質の向上に努めている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は、本人がこれまで生きてこられた人生に思いを馳せ、心に寄り添い喜怒哀楽を共にし、日常生活でのいろいろな場面などで長い人生で培った昔ながらの仕方や成熟された知恵や感性(人生観)を本人から学び支え合う関係を築いている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍にて、ガラス越しやオンライン面会(県外家族)対応。面会では、お孫さんや愛犬連れての面会、愛犬便り、好きな甘い物や畑で採れた旬の野菜の差し入れ等、ご家族の温かなご協力を得ている。毎月のお便りに利用者の日常の写真を載せ近況を報告。お里巡り(ドライブ)にて外出支援している。	お里巡り(ドライブ)の継続。面会の在り方での事業所の今後の見解は、玄関先に対面スペースを設け、感染状況を見ながら対面面会へと徐々に緩和で進める方向です。感染拡大時はガラス越し面会に切り替え、柔軟に対応していく。		

## II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	担当職員は、センター方式をツールにアセスメントを行い、本人の思いや生活に対する意向・希望の把握に努め、他の職員においてもアセスメントに協働し情報共有しながら可能な限り本人本位に添った認知症ケアの実践に努めている。入居時、ご家族にも協力働きセンター方式に記入載している。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディア	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	サービスケア会議にて、本人・家族の意向やケアの在り方、現状課題、リスクへの理解、地域との繋がり等、主治医の意見を含め話し合いケアプランに反映している。	本人、家族の要望や変化に応じ臨機応変に介護計画を見直ししていく。要望や状態変化がなくても確認していく(毎月)等柔軟性を持たせる。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会議参加のご家族の意見を伺うと、適切な話し合いが行われていると感じた。本人と家族をはじめ様々な立場の意見を反映できている。

		アを反映し、現状に即した介護計画を作成している					きめ細かい介護支援の中から、本人の状態変化を確認することができ、柔軟性を持ったケアプランが大切。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々のケアプランを基に、ケア実践・結果、その時の気づきや工夫を具体的に記録、職員間で共有し認知症ケアの実践や介護計画の見直しに活かしている。ケアを実践し誰もが評価し易い記録に見直し実際活用し始めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	提供される記録用紙等の記載が本格化されることにより、よりよい記録が作成され、計画に活かされることを期待する。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍にて現在取り組めていないが、共用スペースの多様化活用(地域や家族、ボランティア、研修・養成)。	地域における認知症ケアの拠点としての役割として、認知症ケアのノウハウや相談にて地域に還元。必要に応じて市や地域包括支援センター等へ相談内容を照会し連携を図る。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	災害時や利用者の失踪時には、同系列の施設や市、警察、消防・消防団、近隣住民と協力体制図っている。コロナ禍において、感染予防講じた上で美容師の方に来て戴きカットして貰っている、ボランティアや介護相談員の方受け入れは出来ていない。運営推進委員として介護相談員に会議にご参加戴いている。	コロナ禍でも感染予防講じた上で出来る支援、移動販売車を受け入れ買い物を体験する。直接対面交流は難しいが、間接的に保育園児との交流を持つ(利用者が手掛ける作品をプレゼントする等)。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人、家族の意向を確認、話し合いの上で納得された医療機関で受診できるよう支援。月2回協力医の訪問診療。又家族協力にて通院。医療機関との連携は密に図っている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時、早期にホームで受け入れ可能な身体状態、ADL面の自立度を家族や医療機関に伝えている。現在コロナ禍の為、電話にて医療機関の担当SWを窓口に行き情報交換を行い、又家族からも情報を得ている。今後の留意点を含め早期退院できるよう多職種連携を図っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の中での対応は苦労があると思います。入院した時点から退院後の検討がされている。入院時病院との調整がされている。実際、退院後、スムーズに通常生活(ホームでの)に戻れた。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化した場合、今後の支援について本人・家族の意向や要望を確認した上で医療機関と情報共有し、主治医の意見をもとに事業所が出来る対応をマニュアルに沿って個別支援している。又職員全員で		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の状態が悪化した際、次の段階について相談できる体制を早期に取っていただける事は大変ありがたい。看取りについての記載もあると良いと思った。

				その都度情報共有。状態により退所となる場合も、医療機関や施設等と情報共有し本人・家族の不安緩和に努めている。			
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	夜間緊急時の連絡方法(手順)や急変時対応マニュアルに沿って看護職より指導仰いでいる。コロナウイルス感染症発生時対応マニュアルを作成、初期対応から併設支援ハウスとの協力体制図っている。コロナ対応では、個人防護用具の脱着やゾーニングの仕方を個別に看護職より訓練を順次受けている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月避難訓練実施。R3.10月町内避難訓練参加(水害想定)、11/4夜間想定避難訓練(総合訓練)実施。7月運営推進会議において消防署員、区長を交えハザードマップを見ながら、又地域の実情を踏まえた洪水災害時の避難の在り方について話し合った。	地震や火災(特に夜間)は突然起こる為、隣近所のヘルプについての理解・協力が不可欠であり、日頃から交流を通じ協力体制への理解を深めつつ強化を図る。具体的避難行動(タイムライン)見える化を図る(水害)。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	夜間想定避難訓練、区長を交えた避難訓練の在り方の検討等、地域の協力を得ながら利用者の安全を確保しようとしている事が伺える。避難確保、安全確保後の利用者へのケアの継続方法についても検討載きたい。
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃の利用者との関わりの中での、言葉掛けや接し方など、接遇に関して注意すべき状況があれば、その時に職員に対し、リーダーや管理者が指導している。ケアの振り返り。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その都度の指導とケアの振り返りができている。利用者の方は上手く伝えられない事があるという事慮って欲しい。日々の会話の中から本音がのぞく事も。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の利用者のペースを把握し、その人の生活スタイルや暮らしのこだわりを大切にそれに合わせながらも生活の幅が広がるよう支援。(日記・メモ、ゴミ箱作り、化粧・ロット巻、新聞・テレビ情報時事ネタ会話、生け花・自室で音楽鑑賞、お経を唱える等。)			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	R3.4月より、通常の食事作りに戻り、野菜の皮むきなど出来る事で食事作りや片付けを職員と一緒にしている。状態に併せての食事形態。嗜好調査実施。クッキング Day 開催。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の出来る事を手伝って貰うと、本人の食への興味が増している。「できない」ではなく「見守る」姿勢で介護されている。やはり女性なので食事の手伝いは本人も希望していると思う。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護明細に食事量と水分量を記録・集計し把握。体重は月1回測定し、運動量と食事摂取量とのバランスを考慮しながら支援。法人内外で、食事や栄養面での相談協力・指導を得られる様な体制未だ検討中。			

30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食前うがい・手洗いの励行と毎食後の義歯洗浄と歯磨き、舌のケア、ブラッシング指導し口腔内チェック行うなど傍で見守り支援している。口腔ケアに理解困難な方に対しても個々に対応。義歯の不具合や治療が必要時には、協力歯科クリニックと連携し治療に繋がっている。年1回歯科検診にて指導載っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	理解困難な利用者にも見守り支援(ケアの指導)をしている。口腔内の清潔保持と予防がされている。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の排泄パターンやその日の状態を把握し職員間で共有、パターンに合わせた声掛け・誘導、介助行っている。便秘時には便秘要因を把握。腹部マッサージや必要に応じ緩下剤使用等を含め対応。水分量や献立の工夫、シニア体操等を取り入れ便秘予防に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄の自立に向けた個々への対応、便秘予防がされている。便通の状況で不安定になる等、排便の有無を把握し対応されている。排泄の自立支援は時間ごとに排泄する事は基本だと思うが、オムツを外すのが目的ではと思います。挑戦してください。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴は、週4回だが曜日や時間は本人の希望に添える様その時々心身の状態を見ながら努めている。入浴困難な方には職員二人対応。シャワー用車椅子や全身清拭含め状態に応じた保清と安全面に努めている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の睡眠パターンや不眠の要因を把握。夜眠れない利用者には、日中の活動や人との交流の場を設け、生活リズム作りを通して安眠対策に努めている。短時間の昼寝や湯浴後の休息、又足腰を伸ばす時間を取り入れる等個々の状態に合わせて対応している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の看護記録に通院・往診結果を記録し処方薬の説明書を綴り職員全員が把握。看護師による薬の管理・変更時の申し送り、服薬介助での本人確認や服薬確認を徹底。服薬困難な場合、薬の形状を主治医に相談し対応。薬の変更(調整)時、センター方式D4シート使用しモニタリング行い、次回診察時に施設NSが集約し文章にて主治医に伝えている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設看護師がきちんと管理し、スタッフ全員が処方薬を把握できるようにされている。家族が通院付き添いした際、本人の服薬の状況を主治医に伝える事が出来ている。又服薬調整が必要時、家族では困難な時、施設看護師が家族と本人の受診に同行し、主治医と話し合い調整行う等対応されている。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の得意とする事を暮らしの役割とし、ラポール委員会を設けている。毎月利用者主体の委員会を開催し、「やってみたい・頑張ってみたい事」など利用者の意見を反映した活動決	個々の利用者が得意とすることや頑張っていること等を暮らしの役割とし、それらを役立てる・披露する場(機会)を提供し、「してもらう私」から「役に立つ		

				めをしている(クッキング Day、ゲーム、園芸、クラブ活動等)。又毎月暮らしの目標を話し合い、今月の目標をホーム内に掲示している。	私」となり利用者の意欲に繋がるよう支援していく。利用者が手掛けるアクリルたわしやごみ箱を保育園で役立ててもらおう。作品を地域の文化祭等に展示する。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍において外出支援があまりできていないが、感染予防を講じた上でお里巡り(ドライブ)や、その日その時の利用者の希望に添って近場ではあるが、ホーム周辺や町内(ご近所)を散歩している。	今後も、感染予防を講じた上でドライブ(お里巡り、時節のお花見等)にて外出予定。又その時々利用者の希望に添ってご近所を散歩し気分転換を図る。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	平成27年7月より、当事業所での現金の取り扱いはしない事と決まり個人の預り金はないが、小口の範囲で外出の際、買い物や飲食を楽しめる支援体制ではあるが、コロナ禍においては支援出来ていないのが現状です。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	県外の家族より、愛犬便りや手紙、電話はあるが、利用者自ら電話の利用や手紙のやり取りはない。希望があればそれに添えるよう支援している。毎年、家族宛て年賀状作成。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家庭的なぬくもりを大切に空間づくりを心掛けている。感染予防の為に換気では、冬季の間は寒いとの苦情あり心地よい空間とは言えなかったが、今では換気への理解や換気方法の工夫にて心地よく過ごされている。共用スペースに季節の花々やや毎月の作品を飾り明るく温かな雰囲気作りを努めています。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の中、室内の配置を含めて、利用者が過ごしやすい工夫されている。又必要不可欠である換気に対し利用者の理解が得られた事も良かった。	
<b>IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)</b>							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で会えない、行きたいところに行けない不自由さはあるが、皆さん口々に「何もしない、する事がない」のが一番苦痛との事。自分の事は自分で出来る事を続けている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人やご家族、友人・知人から情報載っている。入居時、ご家族に協力戴きセンター方式(A1、B1、B2、B3シート)に記入して戴き情報得ている。			

42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月健康面もお便りでお伝えしている。月2回訪問診療を受けている。家族協力にて他医療機関での定期受診と連携。利用者の状態変化にあわせ環境整備(自立促しのための手摺の設置や怪我防止の衝撃吸収マット設置等)状態に合った食事形態で提供。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の状態や変化に応じた対応が出来る。コロナ禍においても工夫を凝らしたお便りで、家族は本人の様子を把握されている。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	起床後の身だしなみ(整髪料で髪を整える)お化粧、入浴後、ロットカーラーを巻く、一番風呂、日記(メモ)をつける。お経を唱える等。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	思い出のアルバム、ひ孫達の写真、馴染みの小物やバック、洋服、お化粧品や整髪剤、良く聞いていた歌謡曲(カセット、CD) 愛犬や家族からのお便り等。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の大切な物を身近に置く対応がされているが、認知症の症状が進むにつれ、馴染みの物に対する認識が困難なっている現状もある。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その日その時希望があれば、事業所周辺、ご近所を散歩。お里巡り(ドライブ)。事業所内での季節行事には楽しんで参加。	利用者のご家族の祭事(結婚式や葬式)への参加はご家族の持つ力量を極めつつ、コロナ禍にての参加については、今後も引き続き話し合っていく。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ラポール委員会にて利用者主体で活動を決めて行うクッキング Day、ラポカフェ、ゲーム等を楽しんでおり、その様子をお便りに写真を載せてご家族に送付している。ゴミ箱作りを仕事として頑張る利用者、書道の得意方には今月の目標を書いて貰う等。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・歌好きの利用者が多く皆で歌を歌っている時 地域交流会で披露する事を目標としている。 ・職員も含め皆と会話している時。 ・息子さんの話をする時。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者主体の委員会を開催する等、利用者本位の活動がされている。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々に関わったり、交流することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍にて外部との接触がなく、地域交流会も2年間中止が続いている。青空美容室にて訪問される美容師の方と馴染みの関係になり訪問日を楽しみにしている。又介護相談員受け入れが出来ていないが、運営推進会議に参加戴き、委員会通じて利用者の声をつたえている。	面会対応と同様、感染状況見ながら、感染予防を講じた上での受け入れ等緩和の方向で進めていく。		

49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	<p>Ⓐ. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	「帰ろうか」と口にするも、いつの間にか「泊まるでの」に変わっている。自室に戻る時「帰るでの」と言う。「ここは家だなもんや」と言葉が出る。	センター方式の活用やケア目標により、利用者が安心して生活できるよう環境を作り、寄り添いケアに努め、家族や地域と共に支えて行く。	<p>Ⓐ. 十分にできている</p> <p>B. ほぼできている</p> <p>C. あまりできていない</p> <p>D. ほとんどできていない</p>	会議参加のご家族や地域の方の意見から、信頼された施設として運営されている事、利用者の方にとって居心地が良い事が伺える。
----	----	------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------